



京都 YWCA

5 2014

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」に向けて

ミッション推進活動 運営委員会 2014 年度会長 篠田 茜



2014 年度は京都 YWCA にとって、特に歴史に残る年になりそうです。昨年は設立 90 周年という年でしたが、今年度はいよいよ新しいステップを実際に踏み出すこととなります。5 階建ての会館は 9 月から、これまでの一般単身女性および留学生向けの宿舎を一新し、2 階がサービス付き高齢者向け住宅、3 階が自立援助ホーム（事業開始は 2015 年 4 月から）、4・5 階が同志社大学女子留学生寮になります。またウィリアム・メレル・ヴォーリズ建築のサマリア館 1 階にカフェが開設されます。この計画は国土交通省の 2013 年度「高齢者・障害者・子育て世帯居住安定化推進事業＜先導的事業＞」に選定され、また開始後 2 年間にわたり、地域福祉モデルとしてこの事業がどのように地域社会に貢献していけるかを検証するという役目も担います。

3 月末にサマリア館の工事が終わり、カフェのためのキッチン、約 20 席のカフェスペース、物販のための部屋の 3 つが整えられました。4 月からは耐震補強も含めた会館の改修工事が始まり、それぞれの運営を検討する委員会、規則や担い手、後援会などについての詰めが行われています。この事業は数年をかけて話し合い、検討を重ね決定された大きなチャレンジです。同時に京都 YWCA が将来的にどのように社会に関わり、活動を持続していくのかについて出されたひとつの回答でもあります。

高齢の単身女性、困難を抱えながら自立をめざす少女たち、様々な文化的背景をもつ留学生がひとつの場所で生活する「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」という形は、一般的な視点からは珍しいかもしれませんが、YWCA がこれまでめざし、これからも目標とする「一人ひとりが大切にされる社会を」という点に沿ったものだと思います。これを機会に地域の人たちとの交流が深まることも期待しています。この答えを大切に、皆でパワーを出し合って事業を育み、根付かせていきたいと思います。皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」コーディネーター紹介

はじめまして、臼井一美（うすいかすみ）です。「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」のコーディネーターとして、みなさんと一緒に働かせていただくことになりました。

これまで、さまざまな形で、女性や子どもたちへの暴力のこと、ジェンダーやセクシュアリティ、在日・滞日外国人の方々の人権、反戦や憲法 9 条のことなど、平和と社会正義そして人権に関する事柄に関わる機会を与えられてきました。その中で、気がつけば、YWCA と関わっておられる方々が周りにおられ、私を励ましてくださっていました。私は、間接的であったにせよ、YWCA によって励まされてきたのだと今、思っています。一人のキリスト者としてキリスト教を基盤にしておられるところで働けることも、感謝しています。

「すべての人がその人らしくいられる社会」という大きな希望を見つめながら、まずは、そんな「居場所」を作っていけたらと願います。どうぞよろしく願いいたします。



若者が集い、
熱く語り合いました

ユース交流会開催

3月22日から23日にかけて、各地のYWCAユースが京都YWCAに集まり共に語り過ごす、ユース交流会が行われました。

1日目は参加者の緊張をときほぐすアイスブレイク、自己紹介から始まりました。自己紹介は氏名、出身以外にも好きな動物や色、チョコレートスナックの「きのこの山」か「たけのこの里」どちらが好きか（ちなみにユースは「たけのこの里」が多数でした）のようなユニークな質問もありました。

そのあと、関わっている活動などを紹介し、話し合いました。沖縄県からの参加者は、沖縄の基地問題に関心があり、大学での部活動を紹介しました。2月にケネディー駐日米大使が来沖した際、フラッシュモブ（路上で、突然集団でパフォーマンスを行って主張を伝える手法）を行い、参加者をSNS（Twitter、Facebookなどのソーシャルネットワーキングサービス）で「沖縄が好きの人募集」と呼びかけ、60人以上集めたそうです。プログラムの参加者やボランティアリーダーを集めるとき、このことは何かのヒントになるのではないかと思います。

夕飯にはシニアの方々が用意して下さった豆乳鍋とトマト鍋、参加者からのリクエストでお好み焼きもいただきました。

2日目は朝食後、京都YWCA会員であり同志社大学の先生でもあるマーサ・メンセンディークさんと共にYWCAとキリスト教基盤について話し合いました。参加者でクリスチャンは私一人だったにも関わらず、1時間の予定が2時間以上もかけて語り合いました。以前YWCAで行われた礼拝を初めて目の当りにして驚き戸惑った方もいましたが、全員、キリスト教が基盤であることについては理解、共感していました。普段あまりキリスト教について語ることはありませんし、クリスチャンではない人に話すことは皆無です。そのこともあり、クリスチャンではない人がどのように思っているのか聞くことができ、勉強になりました。

様々なルーツ、活動をされてきた方々が集まり語り、濃密な2日間を過ごすことができました。ここで出来た繋がりを更に強め、恒例行事にしたいと思いました。

（次世代プログラム委員会 平岩ともり）



在日米軍基地について考える

京丹後の米軍レーダー基地計画を知っていますか？

3月14日に「在日米軍基地について考えよう」をテーマにカフェフリーデンを開催しました。ゲストスピーカーとして、沖縄と基地・軍隊について知り、考え、つながり、表現する場「スワロウカフェ@京都」の片山由美さんに、京丹後に作られようとしているレーダー基地のことをお話しいただきました。

みなさんは京都に米軍基地ができようとしていることをご存じでしょうか。2013年2月に、京都府の北部、京丹后市経ヶ岬に米軍専用レーダー基地を作るという合意がなされました。経ヶ岬は静かな半農半漁の村です。絶滅危惧種のハヤブサの生息地であり、袖志の棚田、山陰海岸ジオパークなど、豊かな自然に恵まれたところです。そこに住民に十分に説明されないまま、住民の声を聞くことなく「Xバンドレーダー」が作られようとしているのです。地元の人々は「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」を結成し、住民が「分断」されないように、抗いの運動を続けておられます。

京都やその周りに住む人に対しての情報提供も少なく、

ニュースや新聞でも「大きく」報道されることはなく、『府民だより』などでも一切触れられません。京都に米軍基地ができようとしているのを知っている人がそもそも少ないのです。より多くの人に知って欲しい、一緒に考えて欲しいという思いで、片山さんはスワロウカフェで活動しておられます。路上でみんなでジュースを飲みながら座って考える場を作ったり、声を掛けアンケートをとったり、ピラを配ったりされています。私たちにできることは、日常生活の中で「京丹後のレーダー基地」のことを周りの人と話していくこと、声を上げ続けることではないかと思いました。

おいしいすいとんを食べながら、参加者の「問い」や「思」も分かち合うことができました。伝え、語り合うなかで人が出会い、それが「大きな動き」となることを、「基地はどこにもいらない」という「声が大きくなる」ことを願ってやみません。

（平和委員会 大川祈）

シリーズ「京都 YWCA 多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」

新事業「女性高齢者向け住宅 サラーム (salaam)」

サラーム運営委員会

京都 YWCA は今年 9 月より 60 歳以上の女性を対象にしたサービス付き高齢者向け住宅「サラーム」を本館 2 階 (8 戸) にて開始します。

「サラーム -salaam-」はアラビア語で「平和」という意味です。サービス付き高齢者向け住宅とは、高齢者に見守りと生活相談サービスを提供し、安全で安心できる生活を送っていただくように配慮したバリアフリー住宅です。

「サラーム」は、女性が主体的に関わる社会づくりを目指す京都 YWCA の理念に沿って、女性をエンパワーする活動を行ってきた 90 年の経験を活かす事業です。高齢者の方々に、年齢も文化的な背景も違うさまざまな人々との交流を通じて、社会と関わりを持ち続ける充実した老後を送っていただくことを目指しています。

開かれた「出会いと協働の場」に向けて

入居高齢者は、必要に応じて職員や会員のサポートを得て、京都 YWCA が提供するさまざまなプログラムやイベントに参加したり、その担い手となっ

けます。サマリア館の食堂「うららかふえ」では、会館に住む留学生や自立援助ホームの若い女性、会館に出入りするお母さんたちや地域の人々と出会うことができます。また、幼児や子どもと接して子育てのお手伝いをしていただいたり、高齢者の方がもつ知識(料理や日本文化など)や人生経験を、若い人々や留学生に伝えて活かす機会も作っていきたいと考えています。さらに、広く地域の人々も参加していただけるような高齢者健康プログラムなどを開催する予定です。こうして生まれる豊かな相互関係を通して、会館全体を魅力ある「出会いと協働の場」としていくことが私たちの目標です。

なお、本施設は、「女性高齢者に住まいと社会参加の機会を提供する多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」事業として、2013 年度の国土交通省「高齢者・障害者・子育て世帯居住安定化推進事業<先導的的事业>」に選定されています。(現在入居者を募集しています。詳細は京都 YWCA までお尋ねください。)



スリフトショップ店じまい

「長いこと、お世話になりました。おおきに!!」

3月15日、京都 YWCA のカンバン活動の一つで、宝探しの魅力があり多くのファンを持っていたスリフトショップが 38 年間の活動を終了しました。

この活動の始まりは 40 年ほど前、当時国際学校の母親たちが学校内で手に入りにくい外国人サイズの子ども服の交換や手作り菓子の材料の販売をしていた場所を、会員の提案で京都 YWCA に移したことでした。その後他の会員たちが関わるようになり、地域の方々へ寄付の品々の提供を働きかけたり、不用品を集めるようになりました。会員たちが集まった品物の整理、仕分け、販売を担うようになり、委員会活動として組織化され、毎月 2 回のスリフトショップが開催されるようになったのです。

「着倒れ」の町にリユース(再利用)の精神を根付かせる

38 年の間に社会は変遷し、バブル期を経て、地球環境、省エネ等の観点から、「リデュース(減産)、リユース(再利用)、リサイクル(再循環)」が提唱されるようになりました。スリフトショップは、「リユース」の元祖的存在でもあり、「着倒れの京都」と言われる室町通りの真ん中で、新品でない物を買

使用するというコンセプトを生み出したのです。

しかし不用品や古着等を京都 YWCA へ持って

いくと有効利用してもらえるということが広がって、持ち込み品の量は相当なものとなりました。それらの整理と収納には多くの手間と広いスペースを必要とするようになり、担当者たちの負担は大きくなっていきました。また今年度から始まる新事業に向けた改装工事のため、品物の整理と部屋の開放が必要となり、これを契機にこれまでの形での活動を終了するという結論に至りました。

今後、リユース活動は、サマリア館の居場所食堂の隣に設ける物販コーナーやロビーでの販売や、定期的なバザーの形で引き継がれます。今後もこれまで築いたお客様との関係を大切に、新しい形の活動を多くの方に支えていただくことを願っています。

(編集部)



3月15日のスリフトショップの様子

今後のプログラム

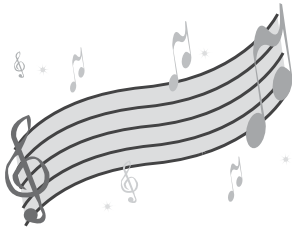
京都YWCA90周年記念チャリティコンサート アルゼンチンタンゴ アストロリコ 四重奏のタベ

日時：2014年5月30日(金)
18:30開場、19:00開演

参加費：全席自由 3,000円

会場：日本キリスト教団 京都御幸町教会
(京都市中京区御幸町二条下
山本町 434)

※チケット販売中! お問い合わせ・お申し込みは京都YWCAまで。



福島訪問ツアー

日時：2014年6月6日(金)~6月8日(日)

出発&解散：

現地集合 (JR新白河or仙台)13:00頃
現地解散 (JR福島)15:00頃

プログラム：

6/6 白河コース

白河アウシュヴィッツ平和博物館
& 原発災害情報センター

仙台コース

津波跡や仮設住宅訪問・・・福島泊
館&原発災害情報センター

6/7 福島YWCAと交流会、福島市内散策・・・土湯温泉泊

6/8 京都YWCAに保養に来た子どもたちとの再会&交流会

参加費：30,000円(朝食代、宿泊費、
仙台・福島での移動費込み)

定員：10名

申込：5月10日(土)まで

カフェ・ボランティア大募集!

京都YWCAでは、今年9月からの新事業として、サマリア館にふれあいの居場所「うららかふえ」を開きます。人と接するのが好きな方はもちろん、お料理が好きな方、空いた時間を人と自分のために活かしたい方など、どうぞ応募ください。

<募集内容>

営業日：火~土、11:00~16:00(予定)
そのうち火・水・木を担当。

(日・休日・月、その他夏と冬のYWCA閉館日はお休み)

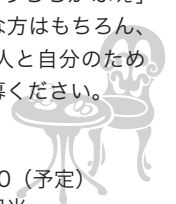
仕事内容：原則1日3人で担当。

5月17日13:00から14:00までボランティア説明会を行います。ふるってご参加ください!

時間：1か月12回~15回のオープン日のうち1回以上を担当します。

準備・後片付けを含む10:00~17:00、終日のほかに、午前・午後の各3時間以上でも応募できます。

※交通費補助あり。詳細はお問い合わせください。



ご寄付ありがとうございました。

2014年2月1日から2014年3月31日
寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

舟木加代、大八木敦子、中地重晴、
日本キリスト教団室町教会

各指定寄付

*多世代・多文化ふれあいコミュニティ事業にむけた改修募金

元ティーンズ有志、堺壽子、堺暉子、
坪野えり子、筒井奈都子、有田孝子、
山本知恵、齋藤佳津子、山本康弘、岡佑里子、
奥村国子、宮武美知子、田中村子、
マーサ・メンセンディーク、井上依子、
(公財)京都YMCA、
日本キリスト教団京都御幸町教会、
日本キリスト教団京都丸太町教会、
日本キリスト教団洛南教会、
日本キリスト教団京都教会、
匿名1名

*90周年みらい募金

波多野ふさ、小寺敬子、弘中奈都子、
花岡正義

*生涯教育事業部クラス・講座運営委員会

Wendy Hartle、畠中隆子・塩谷八重子、
ヴィヴィアナ・ディブラス

*APT

井上陽子、石田法子、山根啓子、
安藤いづみ、杉山知子、孫美幸、
日本キリスト教団洛陽教会、
ヌヴェール愛徳修道会地区本部事務局

*平和委員会

円城順子、伊原千晶、青野美佐江、
イエニックふたみ、ブクラ有志(ブクラへ)

*チャリティーイベント企画委員会

神原喜久恵

*次世代プログラム委員会

次世代プログラム委員会有志

*うららかふえ

河野伴子、うららかふえ有志

多世代・多文化ふれあいコミュニティ事業にむけた改修会債にご協力いただいた方々

2014年2月1日から2014年3月31日

野田祈、野田いづき、野田羽羽、野田かんな、
青野美佐江、森雄二郎、キッチン・ハリーナ、
有田孝子、岡佑里子、堀部碧、伊原千晶、内田匡子、
宮武恒夫、小島明子、織田雪江



PÂTISSERIE
AU GRENIER D'OR

Maison fondée en 2001

KYOTO

仏蘭西菓子処

お菓子教室

パティスリー/サロンド・テ
オ・グルニエ・ドール

Open/11:00a.m ~ 7:30p.m

定休日/毎週水曜日、火曜日・木曜日(不定休)

京都市中京区堺町通錦小路上ル 527-1

Phone 075-213-7782 Fax 075-213-7783

3月・4月/理事会報告

- スウォンププロジェクト(韓国スウォンプ訪問プログラム)：
8月13日(水)~18日(月)往復船便予定(船2泊、スウォンプ3泊)参加者募集開始
- 人事：白井一美を2年間の有期職員として雇用。(4月1日付採用)
- 次世代プログラム委員会：「ぶらっとふぉーむ25」を2014年度始動させる。
- 「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」事業
*自立援助ホーム「カルーナ」の後援会リーフレット作成。後援会会員を募る。
*サービス付き高齢者向け住宅「サラーム」の入居案内開始。
*居場所食堂「うららかふえ」、ボランティア募集中
- 広報部
*新事業スタートに向けて、京都YWCAホームページをリニューアルする予定。
*メディアクリエイター「シンセキ」と業務提携する。

KYOTO YWCA No.520

2014年5月号(5月1日発行)

発行人 上村愈巳子

発行所 一般財団法人京都YWCA

京都市上京区室町通水上ル

電話 (075) 431-0351 FAX (075) 431-0352

e-mail office@kyoto.ywca.or.jp

URL http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替 01080-9-1566

口座名義 (一財)京都YWCA

定価 50円